

IBM Maximo Asset Management Scheduler

特 長

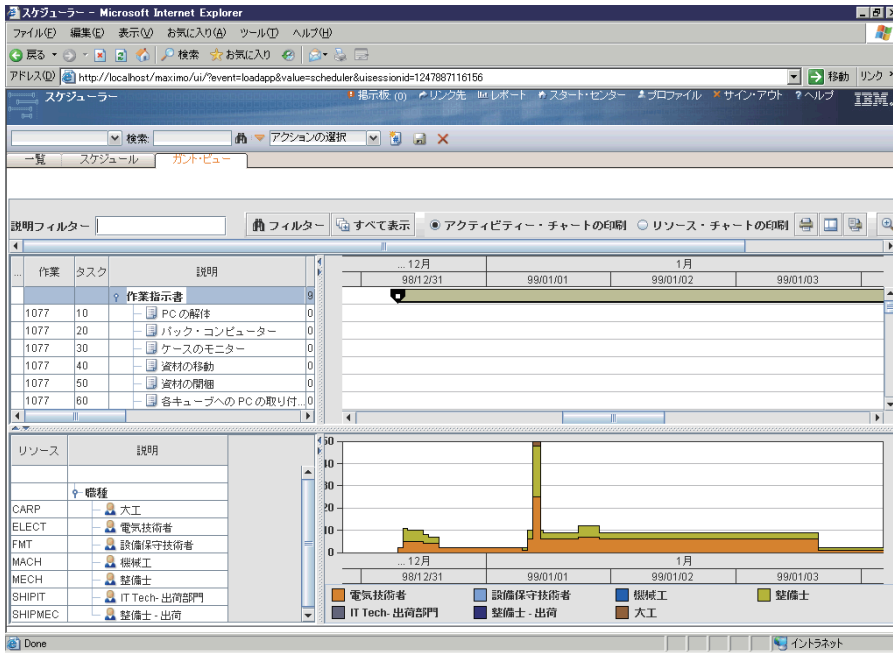
- 作業指示書とタスクをガント・チャートを使って表示、スケジュール
- リソース(作業員)の最適な利用のためにリソース負荷と可用性を表示、管理
- クリティカル・パス・メソッドにより重要なアクティビティを特定、管理
- 作業指示書とタスクの依存関係の管理
- 作業スケジュールの表示と管理、完了目標に向かっての進捗、リソース可用性の変化に対応した動的調整

IBM® Maximo® Asset Management Scheduler (以下、Maximo Scheduler) は、Maximo Asset Managementもしくは、Tivoli® Asset Management for IT のアド・オン製品であり、操作と構成が容易な保全計画ツールです。

保全作業をスケジュールし、リソース利用を最適化して効率的な作業スケジュールを実現します。リソース利用を正確に計画し、資産可用性を最大限に引き出すという保全計画担当者の責任が重くなるにつれ、保全を重視した計画やスケジュールの必要性が高まっています。

Maximo Schedulerでは、保全計画担当者が、複数の作業指示書と、作業の実施に必要な職種をガント・チャートに表示できます。保全計画担当者は、このビューでリソース負荷と可用性を比較し、リソースが効率的に使用されており、作業指示書が適切な時点で完了していることを確認できます。

Maximo Scheduler を使用することで、保全計画担当者は、ほとんどのユーザー定義条件を満たす作業指示書とタスクの組み合わせを含むスケジュールを作成できます。これらの作業指示書と、対応するリソース要件をガント・チャートに表示できます。計画担当者は、タスクと作業指示書をチャートの該当する日時へドラッグ・アンド・ドロップできます。また、ボタンをクリックするだけでクリティカル・パス・メソッドによる高度な計算を実行できます。タスクと作業指示書を操作すると、リソース負荷がリアルタイムで計算され、ガント・チャートにグラフィカルに表示されます。計画担当者はこれらのスケジュールにカレンダーを接続し、作業時間と非作業時間を割り出すことができます。これは、コストがかかる時間外作業の管理に役立ちます。



IBM Maximo Asset Management Scheduler アプリケーションに表示されるさまざまな状況での作業指示書とタスク



© Copyright IBM Corporation 2009
IBM Corporation
Software Group
Route 100
Somers, NY 10589
U.S.A.

Produced in the United States of
America
June 2009
All Rights Reserved

IBM、IBMロゴ、Maximo、およびTivoliは、IBM Corporationの米国およびその他の国における商標です。これらおよび他のIBM商標に、この情報の最初に現れる個所で商標表示(®または™)が付されている場合、これらの表示は、この情報が公開された時点で、米国において、IBMが所有する登録商標またはコモン・ロー上の商標であることを示しています。このような商標は、その他の国においても登録商標またはコモン・ロー上の商標である可能性があります。現時点でのIBMの商標リストについては、ibm.com/legal/copytrade.shtmlの『Copyright and trademark information』をご覧ください。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。本書に記載の製品、プログラム、またはサービスが日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、プログラム、またはサービスについては、日本IBMの営業担当員にお尋ねください。

製品データは、最初の発表日においてその正確性について確認されています。製品データは予告なしに変更される場合があります。IBMの将来の方向性および指針に関するすべての記述は、予告なく変更または撤回される場合があります。これらは目標および目的を提示するものすぎません。

本書に記載された情報は、現状のまま提供され、明示もしくは黙示のいかなる保証も適用されません。IBMは、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を負わないものとします。IBM製品は、IBM所定の契約書の条項(例えば、IBM Customer Agreement、保証の内容と制限、プログラムのご使用条件)に基づき保証されます。

効果

Maximo Schedulerでは、計画担当者は資産に対する未完了の作業指示書をすべてガント・チャートに表示できます。これにより、未完了の作業指示書を論理的にグループ分けし、一括してスケジュールすることで、資産のダウンタイムを削減できます。

リソース負荷をリソース可用性と比較表示できるため、計画担当者はリソースの過度な割り振りと不十分な利用状況を解決できます。

使用可能なリソースに対して競合する緊急作業、計画作業、および計画外の作業を1つのビューで確認できるため、効率的な作業計画を策定でき、コストがかかる中断や生産遅延を防ぐことができます。

参照情報

IBM Maximo Asset Management Schedulerの詳しい情報については、IBM 担当員または IBM ビジネス・パートナーにお問い合わせいただくか、または次のサイトをご覧ください。

ibm.com/software/jp/tivoli/

Maximo Schedulerでは、計画担当者がタスクと作業指示書の依存関係、これらの依存関係に存在している可能性があるリード・タイムとラグ・タイム(遅延時間)を管理できます。計画担当者は、組み込み自動スケジュール・ツールを使用して、タスクや作業指示書を、その期間と他のタスク/作業指示書との依存関係に基づいてスケジュールできます。2段階のコミット・プロセスにより、計画担当者は作業指示書とタスクのスケジュール結果にコミットする前に、想定されるシナリオを作成しておくことができます。

主な機能

Maximo Scheduler の主な機能を以下の通りです。

- ・ガント・チャートでの作業指示書とタスクの表示と管理
- ・タスクと作業指示書の実行時間に関する依存関係(終了 - 開始、開始 - 開始、開始 - 終了、および終了 - 終了)の表示、作成、管理
- ・タスクおよび作業指示書の依存関係定義時のリードとラグの管理
- ・作業指示書とタスクのスケジュール中にリアルタイムでリソース負荷を表示
- ・リソース負荷とリソース可用性の比較
- ・作業指示書の実施全体に影響する重要なタスクの特定
- ・指定された職種を必要とする作業指示書とタスクの特定
- ・作業指示書とタスクの動的フィルタリング
- ・カレンダー/シフトを使用した作業時間内の作業のスケジュールと、作業時間外の作業の最小限化
- ・最適なリソース利用を割り出して実現するための「what if」シナリオの作成
- ・スケジュール・ウィンドウ外部でスケジュールされた作業指示書を容易に識別